

Micro Focus メインフレームソリューション

スターターズキット

12. Enterprise Developer : TN3270 端末エミュレータ プリンタ出力 チュートリアル

12.1 目的

当チュートリアルでは TN3270 端末エミュレータからプリンタへ出力する手順の習得を目的としています。

12.2 チュートリアルの準備

本チュートリアルでは CICS チュートリアルで作成したプロジェクトと Enterprise Server を使用しますので、先に CICS チュートリアルを実施してください。

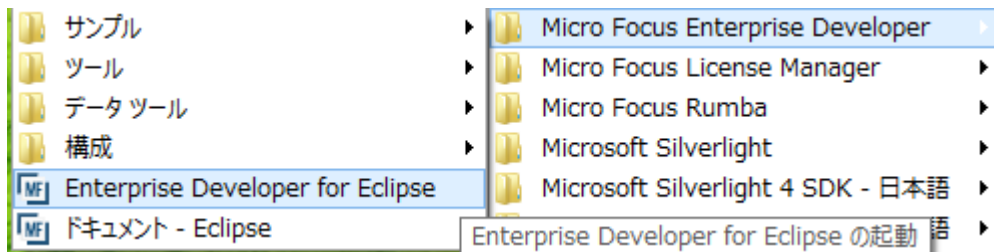
ソフトウェアは以下を使用します。実行前にどちらか1つをインストールしてください。

1. IBM パーソナル・コミュニケーションズ (以下 PCOMM)
2. Rumba

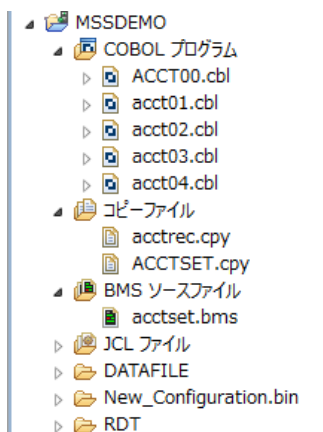
12.3 プロジェクトの修正

Enterprise Developer を起動して設定を行います。

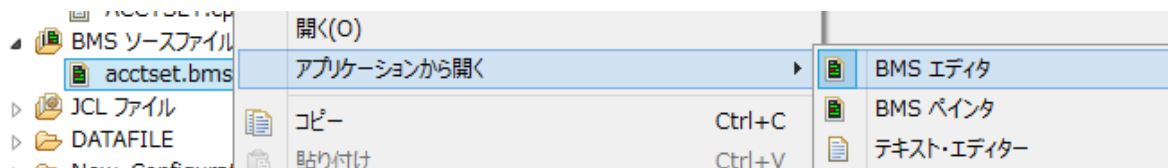
- 1) メニューから Enterprise Developer for Eclipse を選択して起動します。



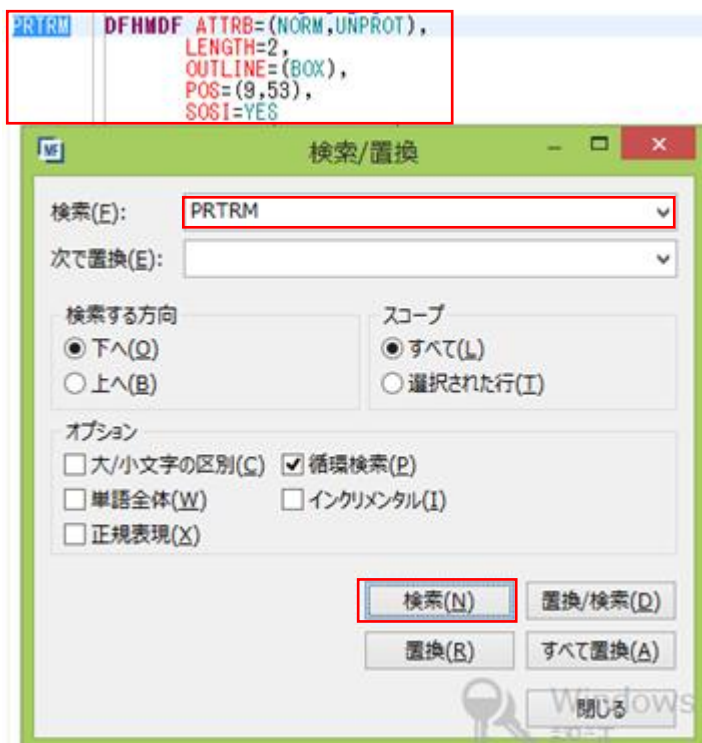
- 2) CICS チュートリアルで使用した MSSDEMO プロジェクトを開きます。



3) BMS ソースファイルをエディターから開きます。



4) プリンタ名を定義している “PRTRM” 文字列を検索します。

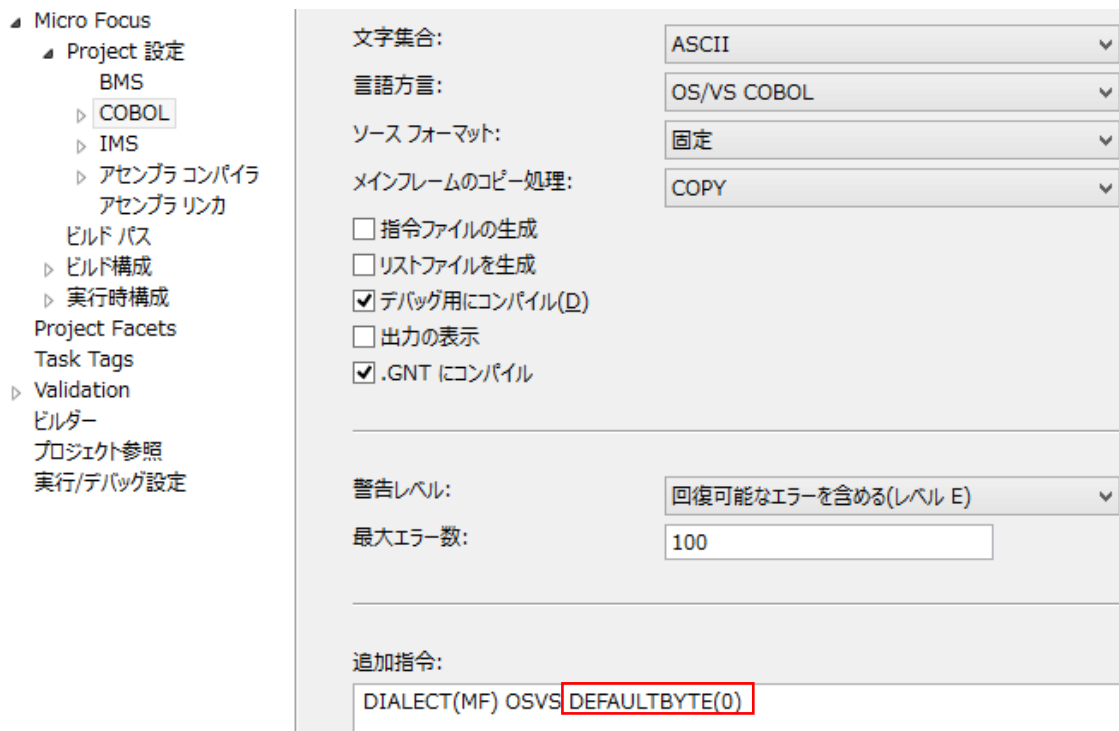


5) エディターから “PRTRM” カテゴリの入力サイズである “LENGTH” を 2 から 4 へ変更して保存します。



- 6) MSSDEMO プロジェクトのプロパティを開き、追加指令へ下記を入力して保存します。これは PCOMM のプリンタ未
利用エリアは Null が前提のためです。

追加指令) DEFAULTBYTE(0)



- 7) ビルドが成功していることを確認します。

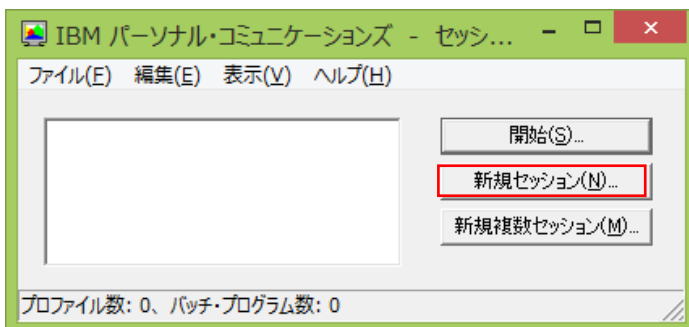
```
BUILD SUCCESSFUL  
Build finished with no errors.  
  
Total time: 1 second
```

12.4 エミュレータのプリンタセッション作成

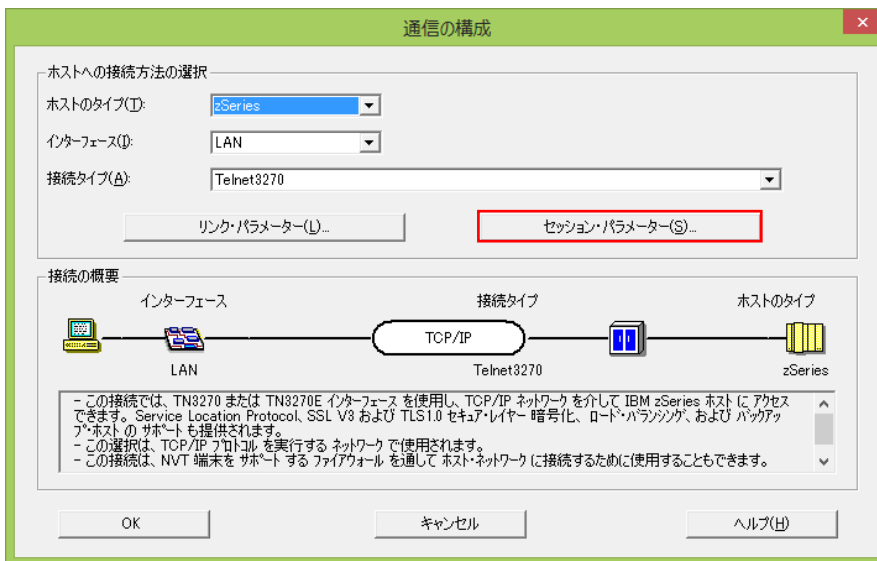
TN3270 端末エミュレータのプリンタセッションを作成します。

- 1) PCOMM の場合

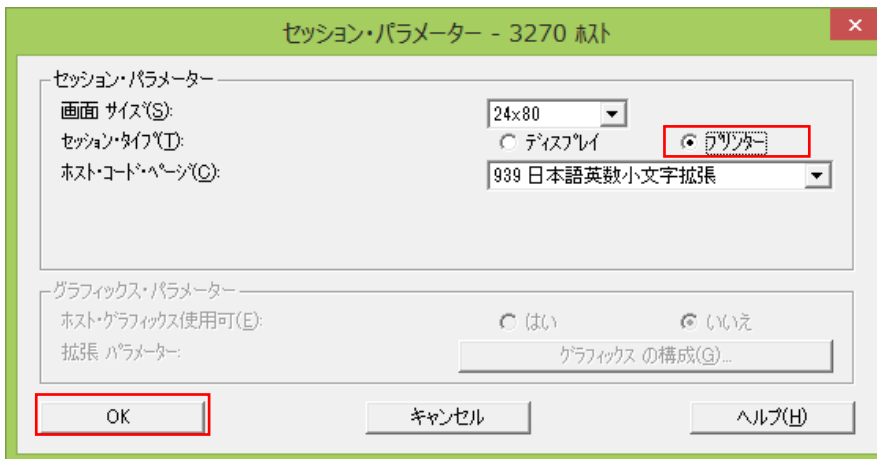
1. PCOMM を起動後、「新規セッション」ボタンをクリックします。



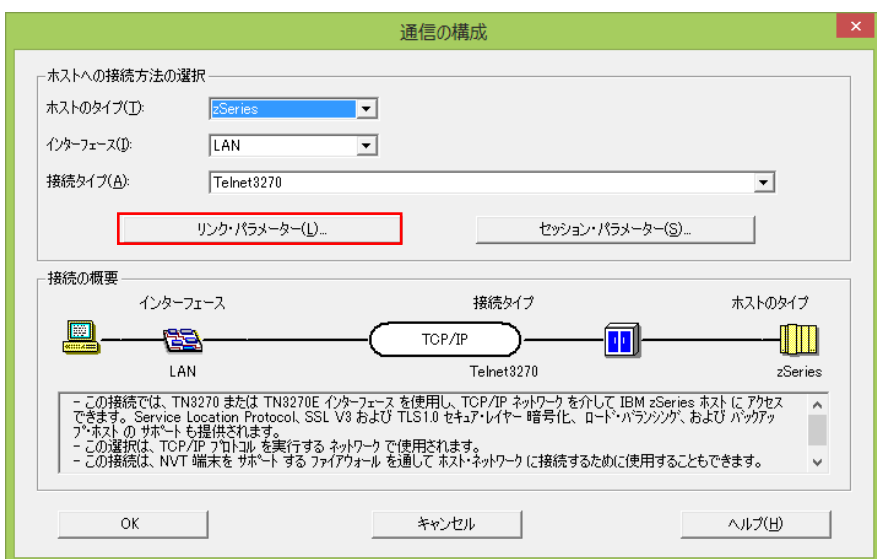
2. 「セッション・パラメータ」ボタンをクリックします。



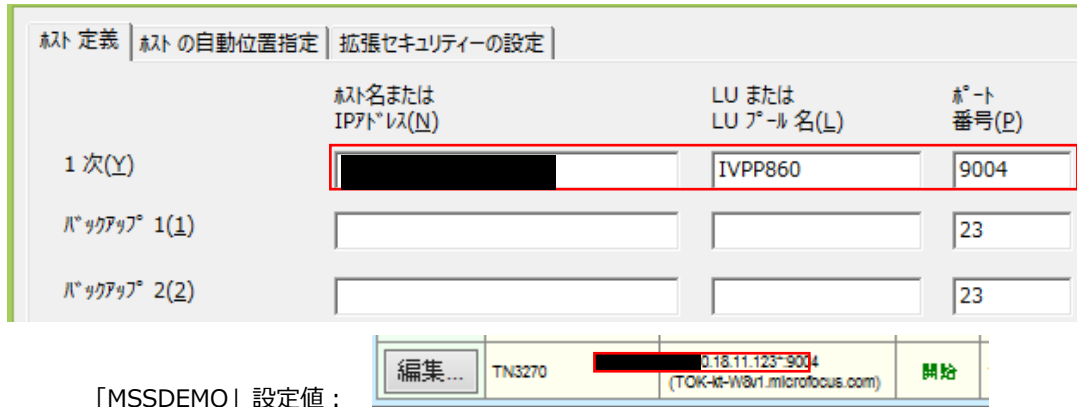
3. セッション・タイプにプリンターを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



4. 「リンク・パラメータ」ボタンをクリックします。

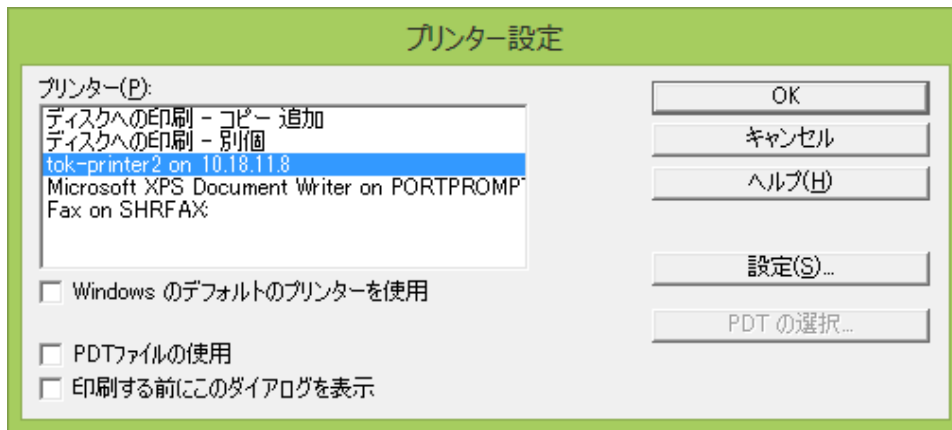


- LU 名に “IVPP860” を入力して「OK」ボタンをクリックします。IP アドレス、ポート番号は CICS 画面を表示する際に指定する値と同様です。



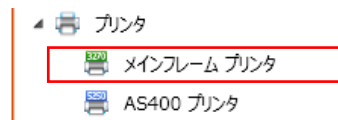
「MSSDEMO」設定値：

- プルダウンメニューの「ファイル」から「プリンタ設定」を選択して出力先を指定することができます。

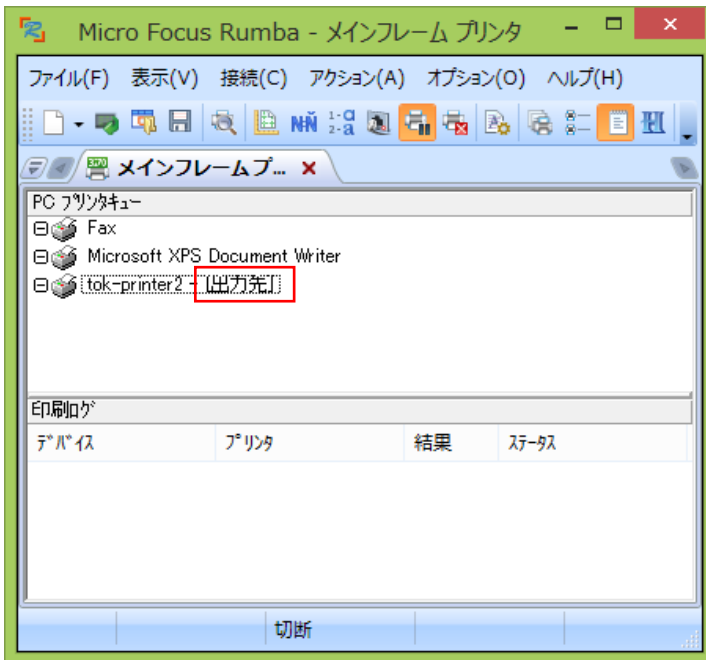


2) Rumba の場合

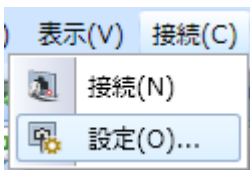
- Rumba を起動後、メインフレームプリンタを選択します。



2. マシンで使用可能なプリンター一覧が表示されますので、出力先を指定します。

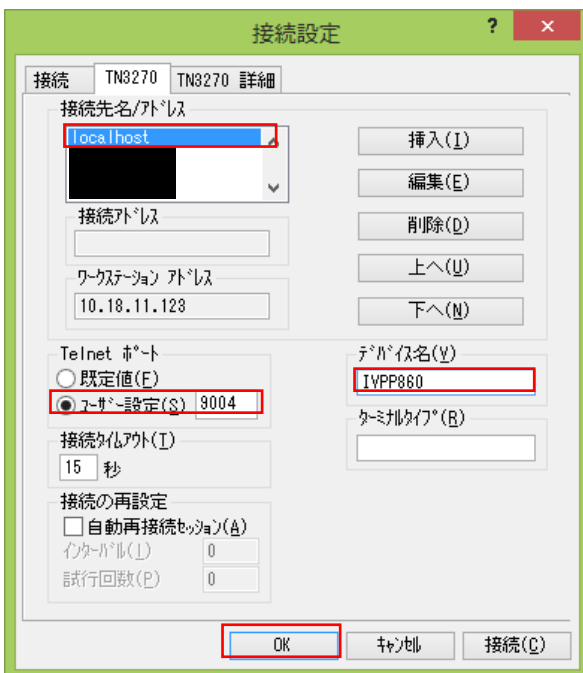


3. プルダウンメニューの「接続」から「設定」を選択します。



4. 情報タブでは「TN3270」を選択して TN3270 タブに移動します。

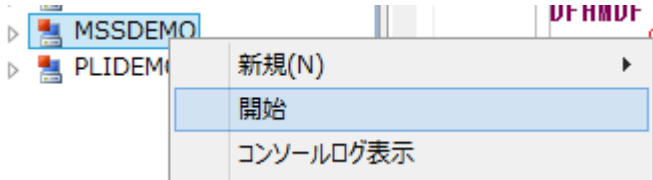
デバイス名に “IVPP860” を入力して「OK」ボタンをクリックします。ホスト名、ポート番号は CICS 画面を表示する際に指定する値と同様です。



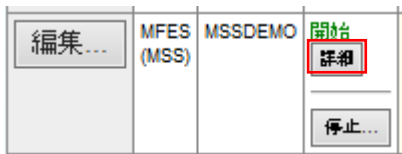
12.5 Enterprise Server の準備

実行するリージョンを準備します。

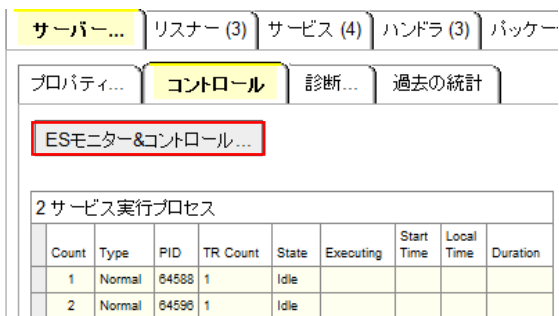
- 1) サーバーエクスプローラから CICS チュートリアルで作成した「MSSDEMO」を開始します。



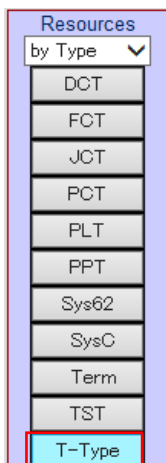
- 2) 管理画面を表示して「詳細」ボタンをクリックします。



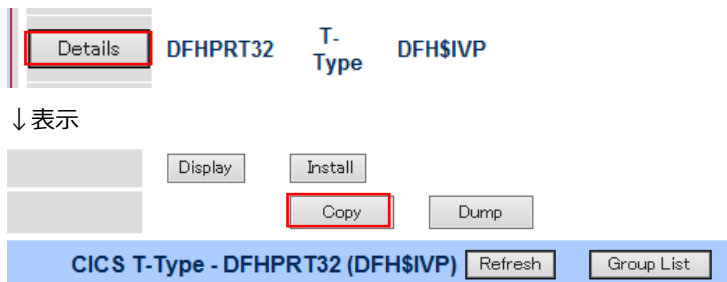
- 3) 「ES モニター&コントロール」ボタンをクリックします。



- 4) 左側「Resources」メニューで「by Type」を選択後、「T-Type」ボタンをクリックします。



- 5) 一覧から、DFH\$IVP グループの「DFHPRT32」の「Details」ボタンをクリックし、この定義をコピーするため下部の「Copy」ボタンをクリックします。



- 6) 下記項目を入力後、「Add」ボタンをクリックして定義を追加します。

【Group】 DBCS を選択します。

【Description】 任意の説明を入力します。

【Shippable】 Yes にチェックします。

【Operational Properties : Create Sess】 Yes にチェックします。

【Diagnostic Display : Last Line】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Audible Alarm】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Dual case kbd】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Extended DS】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Katakana】 Yes にチェックします。

【Device Properties : PS】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Print Adapter】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Color】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Highlight】 Yes にチェックします。

【Device Properties : Katakana】 Yes にチェックします。

The screenshot shows the 'Add' form for creating a new T-Type definition. The 'Add' button is highlighted with a red box. The form fields are: 'Name: DFHPRT32', 'Grp: DBCS' (dropdown menu), 'Description: IVP Printer definition', 'Type: LU3-Printer' (dropdown menu), and 'Shippable: Yes'. Below these fields, there are sections for 'Operational Properties' and 'Diagnostic Display'. In the 'Operational Properties' section, 'Create Sess: Yes' is highlighted with a red box. In the 'Diagnostic Display' section, 'Last Line: Yes' is highlighted with a red box.

Device Properties:					
Def. Screen:	<input type="text" value="80"/>	Width	Def. Screen:	<input type="text" value="24"/>	Height
Alt. Screen:	<input type="text" value="80"/>	Width	Alt. Screen:	<input type="text" value="24"/>	Height
APL Keyboard:	<input type="checkbox"/>	Yes	APL Text:	<input type="checkbox"/>	Yes
Audible Alarm:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Color:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes
Dual case kbd:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Copy:	<input type="checkbox"/>	Yes
Extended DS:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Highlight:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes
Katakana:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Light Pen:	<input type="checkbox"/>	Yes
Form Feed:	<input type="checkbox"/>	Yes	CGSCID:	<input type="text" value="0"/> , <input type="text" value="0"/>	(0-65,535)
Horizontal Form:	<input type="checkbox"/>	Yes	Vertical FF:	<input type="checkbox"/>	Yes
EWA Support:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	SOSI:	<input type="checkbox"/>	Yes
PS:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Outline:	<input type="checkbox"/>	Yes
Numeric Lock:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Buffer:	<input type="checkbox"/>	Yes
Print Adapter:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes	Transparency:	<input checked="" type="checkbox"/>	Yes (background)
Query:	<input type="checkbox"/>	Yes	Text KB:	<input type="checkbox"/>	Yes
Mag Stripe Rdr:	<input type="checkbox"/>	Yes	Validation:	<input type="checkbox"/>	Yes
Partition Support:	<input type="checkbox"/>	Yes			

7) 左側「Resources」の「Term」ボタンをクリックします。

Resources

by Type ▾

- DCT
- FCT
- JCT
- PCT
- PLT
- PPT
- Sys62
- SysC
- Term

8) 一覧から、DFH\$IVPグループの「L860」の「Details」ボタンをクリックし、この定義をコピーするため下部の「Copy」ボタンをクリックします。

Details **L860** **Term** **DFH\$IVP** **3270 Printer**

↓表示

Copy

Dump

CICS Term - L860 (DFH\$IVP)
Refresh
Group List

9) 下記項目を入力後、「Add」ボタンをクリックして定義を追加します。

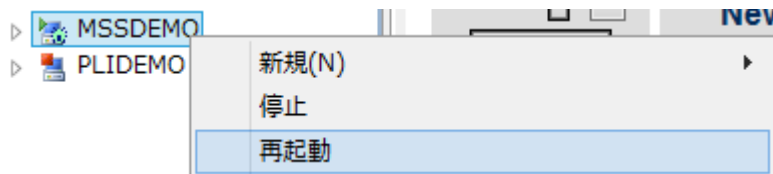
【Name】 P860 を入力します。

【Group】 DBCS を選択します。

【Net Name】 IVPP860 を入力します。

Add	Name: P860	Grp: DBCS
Description: 3270 Printer		
Auto Install:		
Model: No	Model Name:	
Terminal Identifiers:		
Terminal Type: DFHPRT32	Net Name: IVPP860	
Remote Name:	Remote SysID:	

10) 変更の反映を確実にするため「MSSDEMO」を再起動します。

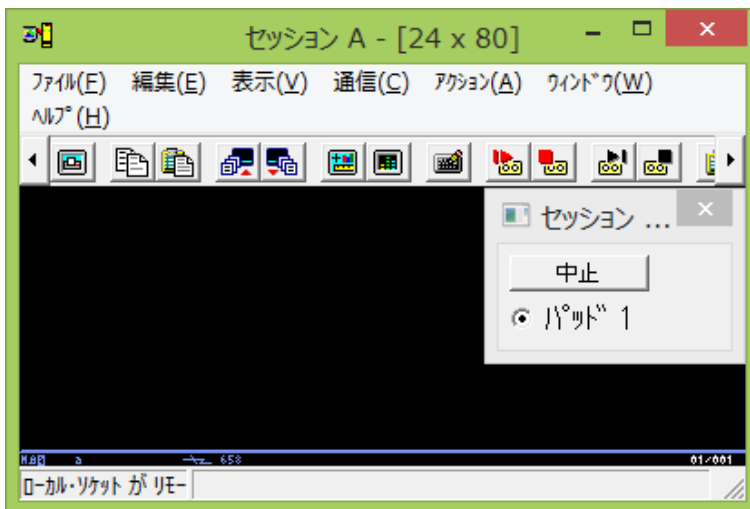


12.6 アプリケーションの実施

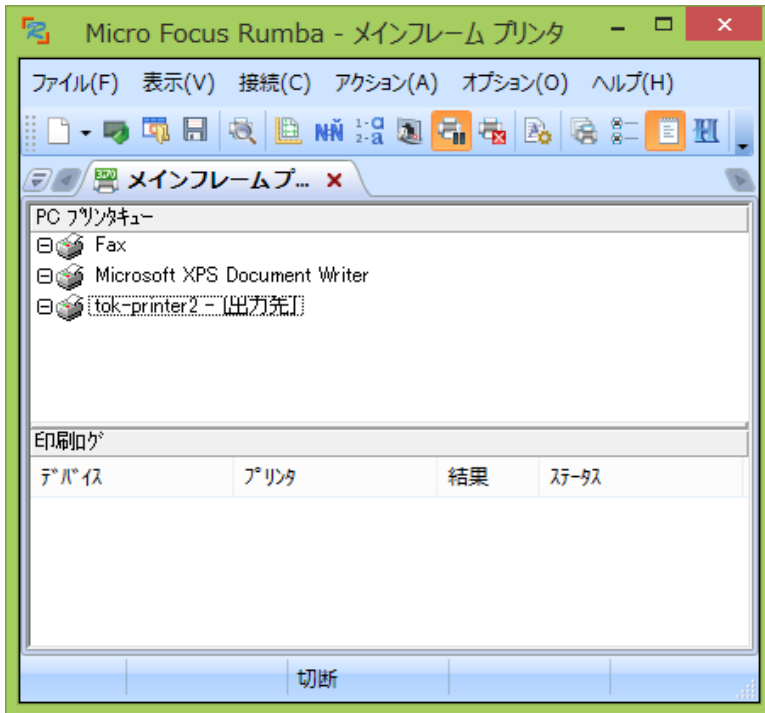
実際に動かしてみます。

1) 前項で作成したプリンター用の TN3270 端末エミュレータを接続します。

1. PCOMM の場合



2. Rumba の場合



2) CICS 例題を実行するためのセッションをもう 1 つ接続して、ログイン後の画面で下記を入力しエンターを押します。

【処理コード】 P を入力します。

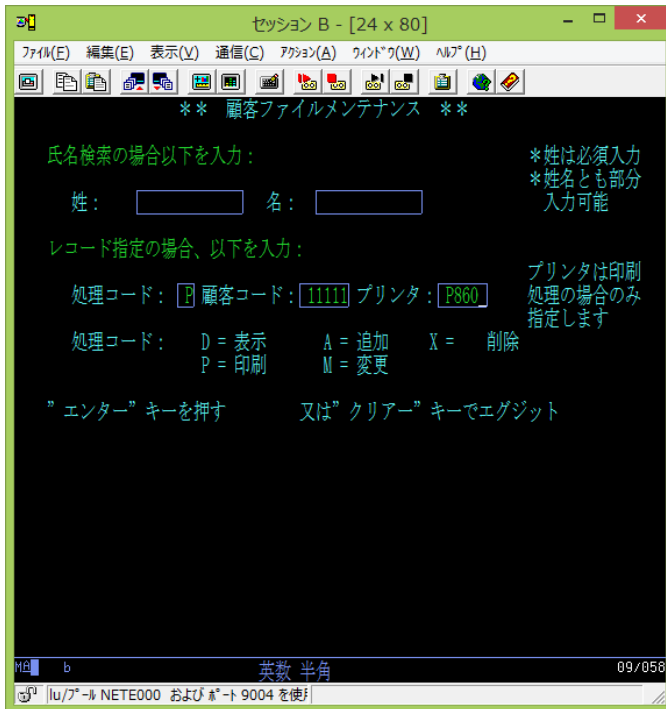
【顧客コード】 11111 を入力します。

【プリンタ】 前項で作成した P860 を入力します。

参考) プログラムコード

```
EXEC CICS RETRIEVE INTO(ACCTDTLI) LENGTH(TS-LNG) END-EXEC.  
EXEC CICS SEND MAP('ACCTDTL') MAPSET('ACCTSET') PRINT  
ERASE END-EXEC.
```

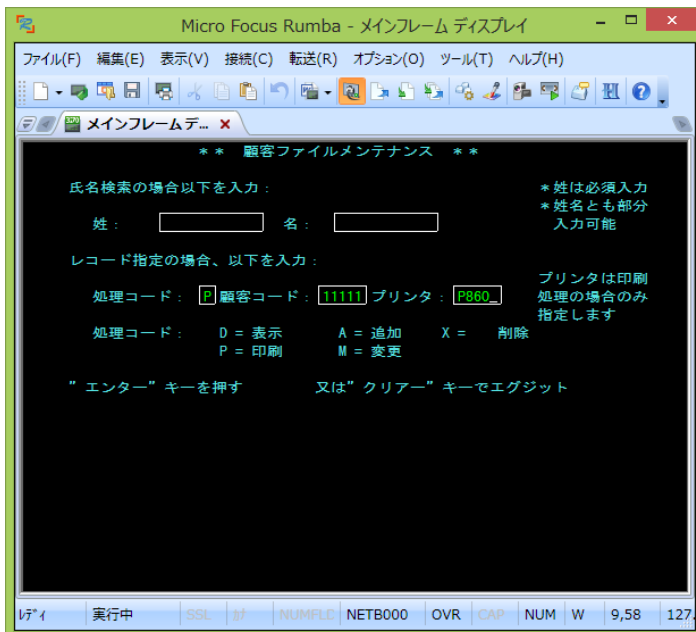
1. PCOMM の場合



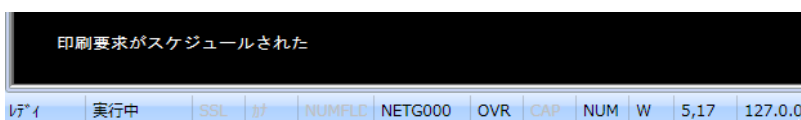
下記メッセージが表示されます。



2. Rumba の場合

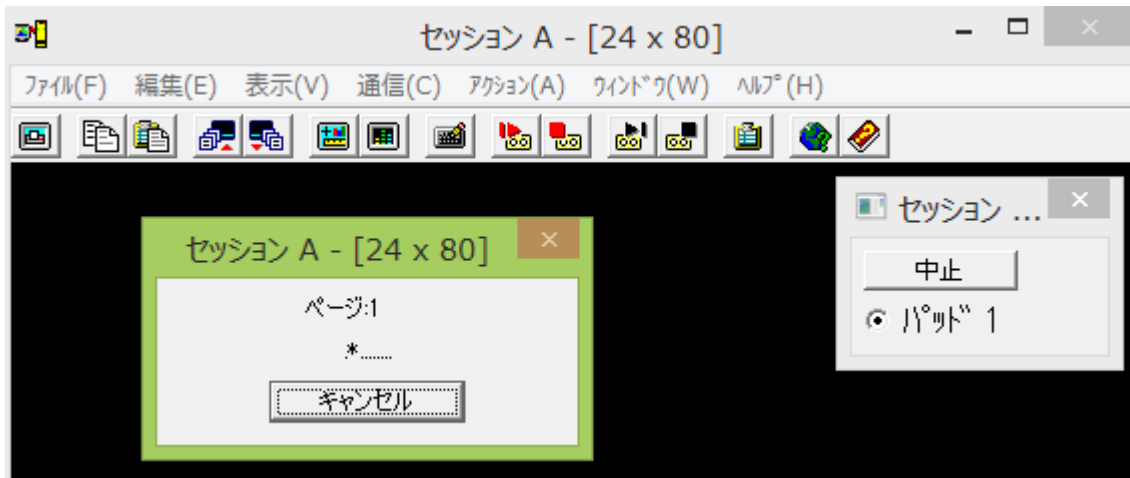


下記メッセージが表示されます。



3) 実行結果が出力先プリンタへ出力されたことを確認します。

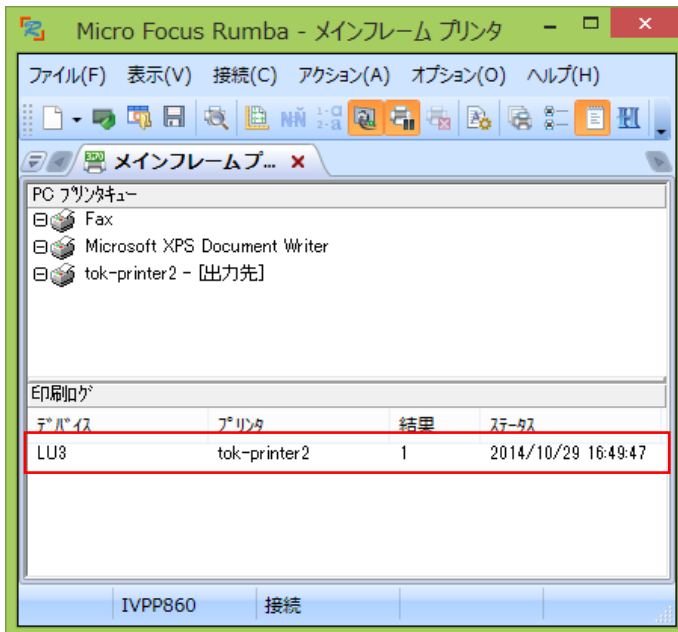
1. PCOMM の場合



注意) バージョンが 6.0.5 未満の場合は、PCOMM の不具合により一旦切断しないと印刷ができない問題が発生しています。

2. Rumba の場合

印刷ログに記載されています。



4) 各セッションを終了後、「MSSDEMO」リージョンを停止します。

以上で TN3270 端末エミュレータ プリンタ出力チュートリアルを終了します。